

生涯教育研修会報告書 (H24.3.17)

北部学術 11-081

《報告日》

平成24年3月31日

《報告者》

所属：市立舞鶴市民病院

氏名：橋 久美

連絡先：0773(62)2630

会員番号：260326

行事名：第11回京都北部CDEの会講習会

主 題：北部症例検討会

日 時：平成23年3月17日(土) 14:30~17:50(実質時間：3時間20分)

会 場：舞鶴医療センター

分 類：C-20

主 催：京都北部CDEの会

共 催：京都CDEの会/京都府臨床検査技師会/京都府病院薬剤師会

京都府看護協会/MSD株式会社

全体参加人数：46名

会員参加人数：2名

《内容》

《内容報告》

1 『糖尿病療養指導が楽しくなるメディカルコーチング』の振り返り

市立舞鶴市民病院 橋 久美 他3名

2 症例検討会(15:20~16:35)

① 「私が経験した困った症例」 福知山市民病院 薬剤部 小林 香奈先生

② 「私が経験した困った症例」 福知山市民病院 看護部 枅岡 真由美先生

③ 「教育入院における栄養指導の効果」 綾部市立病院 栄養科 宮崎 順子先生

④ 「私が経験した困った症例」 舞鶴共済病院 薬剤科 藤村 保夫 先生

3 特別講演 (16:45~17:45)

『このような症例をみたらどう考えますか?』

あいおい橋 四方クリニック 院長 四方 泰史 先生

1. メディカルコーチングの振り返り

昨年12月18日と今年1月8日の2日間で受けた『糖尿病療養指導が楽しくなるメディカルコーチング』の伝達講習を3病院合同で行った。2日間の内容を45分に凝縮した講習であったが、患者指導だけでなく、職場や家庭など様々な場面で使えるコーチングについて、コーチングの良さや必要性などを伝えた。

2. 症例検討会

「私が経験した困った症例」がテーマであったため、各病院から難しい症例が報告された。

北部で初めて行われた症例検討であったが、継続して行っていきいたいと思った。

(市立舞鶴市民病院 橋 久美)

